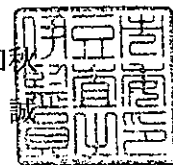


伊豆市監査委員 告示第3号

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、監査の結果を次のとおり公表する。

平成31年2月26日

伊豆市監査委員 宮内 知秋
伊豆市監査委員 杉山 誠



記

1. 監査の期日 平成31年1月31日(木)
2. 監査の対象
建設部 用地管理課、都市計画課、上下水道課、建設課
3. 監査の方法
提出された監査資料等に基づき、各担当課の説明を受けた後、事情聴取並びに関係書類の審査を実施した。
4. 監査の結果
監査を実施した範囲においては、事務事業及び予算執行状況は概ね適正に処理されているものと認められた。
5. 監査の概要、意見
対象部課の監査結果の概要及び意見は、次のとおりである。
【建設部】
 - (1) 用地管理課
 - ① 市営住宅維持補修工事では、中里団地の外壁と屋根の工事を52,920千円で中豆建設㈱と締結し、改修を行っている。これは市営住宅の長寿命化計画に基づくものである。また、耐用年数待ちと退去待ちにより廃止を計画する公営住宅を確認した。平成29年度の使用料現年度分収納率は98.1パーセント、過年度分では6.9パーセントで、滞納額14,301千円が未払い状態であり居住滞納者には生活状況を見据えながら徴収事務の遂行にあたっていただきたい。
 - ② 市道管理の状況では、道路台帳整備事業として株式会社東日に情報更新業務(2,160千円)を5路線0.69キロ分で委託している。また、伊豆縦貫自動車道関連工事として、大平地区の松葉沢水路蓋設置工事(1,120千円)、市道小ノ田中丸線防護柵設置工事(4,104千円)を実施している。
 - ③ 本年度の道路・河川占用料の現年度分収納率は、99.0パーセントと昨年と同じであるが、

過年度分については、納付義務者の会社が倒産し、徴収できない収入未済額が発生しているとのこと。

- ④ 伊豆縦貫自動車道等関連事業では、天城北道路が完成し、1月19日に市民に対してサイクリングとウォーキングの開通イベントが行われた。草刈業務として大平圃場再編委員会に委託（97千円）している。天城北道路建設推進委員会への交付金は事業完了のため未執行となった。天城北道路及び伊豆市幹線道路網整備促進期成同盟会は、国県機関へのお礼活動があり400千円を交付執行している。
- ⑤ 地籍調査は、計画地区の全行程を3年サイクルで行っている。本年度は、補助金分として城（Ⅰ・Ⅱ）、冷川（Ⅲ）の中伊豆地区1.14km²を委託料19,548千円で静岡県土地改良事業団体連合会が、小土肥（Ⅱ・Ⅲ）、八木沢（Ⅰ・Ⅱ～Ⅴ）の土肥地区0.92km²を委託料11,556千円で株式会社東日が、熊坂（Ⅴ・Ⅵ）、瓜生野（Ⅰ～Ⅲ）の修善寺地区0.50km²を委託料6,966千円で協和コンサルタント株式会社が調査事務を請け負っている。本年度の調査面積は2.56km²、全体の進捗面積は25.27km²で、平坦地における進捗面積の比率は71.87%、全体面積に対しては8.75%となっているとの説明を受けた。土肥地区の進捗率1.58%と低いため地区とのバランスをもって進めていただきたい。

(2) 都市計画課

- ① 都市計画推進事業では、修善寺地区以外の3地区（土肥、天城湯ヶ島、中伊豆）の都市計画区域拡大の説明会を9回開催したが、まだ少ないので今後も開催すること。特に反対意見はないようだが、自宅の建替えとなった際に接道義務・建ぺい率・容積率など規制の問題が生じるため該当箇所が多い地域の住民には丁寧な説明をお願いしたい。修善寺地区の都市計画が見直され、都市計画牧之郷地区計画が決定された。地区計画の目標は、良好な住環境の保全と安全な歩行者空間の創出により、鉄道駅の利便性を活かし安全で快適な住宅地域形成することを目標としている。土地利用方針では、1住商共存地区、2住宅地区、3田園住宅地区に区分されている。伊豆市の玄関口修善寺駅と牧之郷駅周辺地域が共に鉄道利便性を提供しうるコンパクトタウン建設候補地である。伊豆市の新しい顔となる魅力ある住宅地開発のシンボルとなると確信します。牧之郷地区の地区計画案は縦覧を始めると伺った。スケジュール通りに計画策定が遂行されることを強く、強く期待します。
- ② 景観まちづくり重点地区に指定した修善寺温泉・桂谷地区の景観まちづくり計画では地元住民が中心となった活動として、修善寺から奥の院までの道路沿いにナノハナの種まきを実施している。修善寺地区の地域づくり協議会の設立の動きもあり、今後の景観まちづくりの活動に期待したい。湯ヶ島地区については、地域住民が参加した勉強会、景観まち歩き、景観セミナー、意見交換会を開催し、平成31年度中の重点地区指定を目指している。湯ヶ島温泉地区の景観は、旅館等の廃屋のイメージが広まらないよう、自然と文学、温泉が調和した地域住民によるまちづくりを主体とした重点地区に繋がるよう支援をいただきたい。平成29年3月30日伊豆市景観まちづくり条例が施行され、第5条（市民の責務）で「市民は、自らが良好な景観の形成の主体であることを認識し、その意識を高めるとも

に、積極的に良好な景観の形成に資するよう努めるものとする。」2項「市民は、市が実施する良好な景観の形成に関する施策に協力するよう努めるものとする。」と規定されている。各地区で人口減少による環境保全活動の新たな活動方法（地域づくり協議会など）が求められるが、中核は女性を含む人材の発掘・教育である。景観まちづくり活動が住環境を向上させ、住む人の人格や品格を磨き、住み易さを提供し、自治能力強化の基となる。理念に囚われることなく、日常の市民生活の中に自然と受入れる事のできる政策誘導をお願いしたい。例えば、全市民的で具現化されたテーマを提案します。対外的にも景観まちづくりは、伊豆市ブランド力を高める象徴的な活動である。力点を置いた取組みを期待します。

③ 屋外広告物事業では、静岡県屋外広告物条例により屋外広告物の特別規制区域、普通規制区域、広告景観保全区域がある。国道136号バイパス修善寺道路や伊豆縦貫自動車道天城北道路などは特別規制区域の基準に更に上乘せされた厳しい基準の広告景観保全区域となっている。現在、伊豆半島域で違反広告物の是正に取り組んでおり伊豆市内で違反している野立て看板数423件(平成29年12月調査時点)は、本年12月末で214件(進捗率49.4%)へと減少している。平成32年度の東京2020オリンピック・パラリンピック大会までに違反広告物を是正し、観光地にふさわしい景観形成を目指していただきたい。

④ 修善寺駅及び駅北広場等では、駅構内、駅西口広場、南・北広場、駅北駐車場の維持管理を市が行っている。駅トイレ清掃、駅構内清掃(毎日午前1回・午後2回)を伊豆市シルバー人材センターに清掃業務として委託(2,082千円)している。

駅北広場駐車場は管理システムをユニバーサル商事(株)に委託(1,880千円)し、駐車料金の清算・出金、利用の管理等を行っている。利用状況は次のとおりである。

(単位：台数、円)

年度	上段駐車場			下段駐車場			北口広場(上下段)駐車場			計 利用 料金
	無料 台数	有料 台数	計	無料 台数	有料 台数	計	無料 台数	有料 台数	計	
H29	18,341	4,563	22,904	3,671	2,498	6,169	22,012	7,061	29,073	3,233,100
H30	20,765	5,044	25,809	4,333	3,312	7,645	25,098	8,356	33,454	3,714,000
H31	15,154	3,701	18,855	3,393	2,607	6,000	18,547	6,308	24,855	2,688,100

※ H31年度は、12月分までの累計

(3) 上下水道課

① 水道管の布設工事では、簡易水道事業は1)本柿木配水管布設替工事(契約金額12,042千円)、2)八木沢配水管布設替工事(契約金額7,776千円)、3)小下田配水管布設替工事(契約金額9,918千円)の3箇所を施工し、上水道事業では1)上和田配水管布設替工事(契約金額11,228千円)、2)芙蓉台配水管布設替工事(契約金額12,096千円)、3)城配水管布設替工事(契約金額12,312千円)、4)地蔵堂配水管布設替工事(契約金額11,880千円)、5)月ヶ瀬配水管布設替工事(契約金額7,636千円)、6)天城北道路関連月ヶ瀬配水管布設替工事(契約金額4,104千円)、7)年川配水管布設替工事(契約金額12,104千円)、8)天城北道路関連下船原配水管布設替工事(契約金額8,403千円)、9)市山減圧弁取替工事(契約金額

4,968千円)の施工を確認した。水道管等改良工事による延長距離は、原価償却の中で施設管理を実施しているが、可能な限り水道管布設等工事を実施し、少しでも漏水事故を減らすよう努力願いたい。

- ② 下水道事業の管渠布設工事では、繰越明許による大平地区第1工区(平成30年分契約金額60,101千円)と1)大平地区第1工区(契約金額16,200千円)、2)大平地区第2工区(契約金額49,680千円)、3)大平地区第3工区(契約金額108,000千円)、4)マンホール内ポンプ設置工事(契約金額19,980千円)の内容を確認した。また、管渠布設工事の工期は、年度の適正な時期に発注、工事実施できるよう願いたい。
- ③ 下水道料金改定に伴う収支状況では、修善寺地区は7月分から、中伊豆・天城・土肥地区は6月分から下水道料金のうち基本料金1月270円を345.5円に、水量料金を1m³につき91.8円を116.64円に単価で27パーセントの値上げを行っている。料金収入としては月別に前年度と比較して増加率27パーセントに満たない月があり、上水道の使用量減少の影響による使用量減が理由とのこと。地区別の使用量データを活用し使用量に係る分析も実施してほしい。
- ④ 上下水道料金徴収業務は、㈱ヴェオリアジェネッツに徴収業務を含めた受付業務等を42,746千円で委託している。現年度の収納率は上水道で平成28年度96.89%が平成29年度97.58%、簡易水道で平成28年度97.19%が平成29年度98.30%、下水道で平成28年度98.32%が平成29年度98.89%、農業集落排水で平成28年度96.72%が平成29年度97.79%にそれぞれ改善している。受付業務のお客さまセンター業務量では、平成29年度からコール件数、異動件数、窓口受付件数ともほぼ前年度件数と横並びになってきている。また、収納区分別の調定件数では、コンビニ収納の納付率が伸びており、利用者の向上が図られている。

水道修繕調査等業務委託では、伊豆市上下水道協同組合に市内水道の漏水事故等の受付・相談窓口、現場確認及び漏水調査、漏水修繕業務を20,736千円で委託し、本年度12月現在、問合せ受付件数351件、修繕工事件数189件を数え、上水スタッフ業務量の負担軽減となっている。

(4) 建設課

- ① 本年度の県単独治山(補助)事業は入ノ洞治山工事(柳瀬)と、北又緑山工事を予定していたが入ノ洞治山工事は採択されなかったため北又緑山工事(契約金額6,481千円)1件を実施し、既に11月に完了したことを確認した。
- ② 市道整備事業では、防災・安全交付金事業として日影橋(城)修繕工事他4橋梁の修繕工事内容の説明を受けた。今後も長寿命化計画の中で毎年1億円の予算枠規模で改修を継続していくとのこと。東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けたペロドロームに向かう市道大野中ノ沢線改良工事のほか、市道駅前柏久保線、市道さくら大通線、市道出口平石線、市道越路橋線、姥金日深沢日陰線、市道小川遠藤橋線、市道大平柿木線、市道日向小川山田線、市道中野線の改良工事、桂谷トンネル修繕工事及び市道越路嵐山線(御幸

橋) 下部工 (左岸) 工事の内容の説明を受け確認した。

- ③ 本年度の急傾斜地崩壊対策事業については、土肥の駿豆学園裏の大久保No. 3急傾斜地崩壊対策工事(20,088千円)の1箇所を実施している。国の補助決定により着手しており、約5年間で総区間の完成を予定する。市内3箇所の指定促進事業業務委託をしており、急傾斜地指定箇所による県への工事依頼の届出件数は34件となる。現在、市内で県営急傾斜地崩壊対策事業が5箇所で実施されている。それぞれ急傾斜地の工事規模により県営工事か市工事かが判断されるところ。

